

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第211号(2024. 9. 1)  
事務局 川西地区自主防災会

## 本校における防災教育について

香川県立坂出工業高等学校  
施設整備部主任 河中 一郎

### 1 学校紹介

本校は昭和13年坂出西部小学校仮校舎において、機械科・電気科の2学科を擁し開校しました。本年度で創立87年目を迎える歴史ある学校です。

「国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養うとともに、工業の各分野における基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、地域社会



と工業の発展を担う豊かな創造力と実践的な態度を有する人材を育成する」という教育方針の下に5つの重点目標を掲げ、日々教育活動に取り組んでいます。

現在は、全日制課程の4学科（機械科〈2年次より機械コース、自動車コースの選択制〉・電気科・建築科・化学工学科）になります。少子・高齢化の影響なども少なからず受け、入学定員に満たない状況も起こっており、数年前より県外生徒募集制度の導入など工夫して対応しています。

教育活動においては勉学に励むことはもちろん、学校行事や資格取得など生徒と教員が一緒になって熱心に取り組んでいます。また、部活動においても四国大会・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）への出場を果たすなどの成果を収めています。

開校以来1万7000人余りの卒業生を輩出し、地元企業の基盤を支える人材として活躍しています。また、最近ではグローバル社会と言われるように企業の海外進出もあり、海外でも活躍されている卒業生もいると聞いております。

### 2 防災・減災教育への取り組みにあたって

私が本校で、この校務分掌を任されて11年目になります。10年前、前任者からの引き継ぎに当たって、丸亀川西地区自主防災会会長の岩崎様を紹介されました。それ以来、本校の地域合同の防災訓練において、準備から始まり、実施、指導・助言等に至るまでご協力いただいております。併せて、丸亀市川西地区自主防災会並びに内浜西自主防災会の皆さんにも大変お世話になっており、感謝しています。

私が担当になった当初、他に学年主任や、何十年かぶりに部活動の第1顧問を任されることになりました。部活動に関わるための資格取得など教員として初めて取り組むことも重なり、大変な日々であったと記憶しています。

まずは前任者がやっていたことを踏襲し、実施していくことで精いっぱいでした。自分が取り組んできたことを振り返り、少しずつ自分なりに考え、校内外の整備・調整に取り組めるようになったのは、3年くらいたってからでした。

校内諸規程に従った防災管理委員会（定例会）の開催、安全点検はどこが担当しどのように実施するのか、香川県主催のシェイクアウト訓練への参加、学校行事のバランスを考へての関連実施項目の変更、外部との手続きの煩雑さや調整など微力ではありますが取り組んでまいりました。

今回このような機会を得て、本校における防災教育関連の取り組みについてお知らせいたします。

### 3 年間行事等

行事計画

月	行 事	検 査 標 示
4	第1回防災管理委員会(4/11) ※新年度防災管理組織 行事計画審議(年間・ 学期) 消防用設備取り扱い講習会	防災関係標示 火気使用箇所点検等
5	火災予防打ち合わせ 合同防災訓練(5/24)	地震・火災(・津波)発生時等の生徒の避難訓練及びそ の他必要と思われる訓練
6		電気関係配線検査 火気使用箇所点検・危険物点検 消火栓関係点検・消火器点検、非常持ち出し・薬品関係点検
8	防災講習会 第2回防災管理委員会(8/26) ※1学期の行事課題検討 及び2学期の行事審議	防災関係標示 火気使用箇所点検等 防災(風水害・地震等に対する)
9		
11	香川県シェイクアウト訓練 及び避難訓練(11/5) 防災講話(11/5)  統一LHR(防災に関する)	地震・火災(・津波)発生時等の生徒の避難訓練  生徒及び教職員への防災教育 高圧ガス・燃料点検 秋季全国火災予防運動 生徒及び教職員への防災教育
12	第3回防災管理委員会(12/17) ※本年度の学校評価及び3 学期の行事審議(次年 度の課題検討)	
1 2・3	放送設備点検 放送設備点検	校舎設備点検(関係職員で実施) 校舎設備点検(関係職員で実施) 春季全国火災予防運動

上記は、令和6年度の防災関係の年間行事計画を例として示しております。

ただし、8月に行われていた香川県教育委員会主催の防災教室講習会(関係教職員対象)が防犯・防災教室講習会に名称が昨年度(令和5年度)から変更され、担当窓口分掌が変わりました。

また、同主催する高校生を対象とした災害時ボランティアリーダー養成講習会（希望生徒対象）にも、過去に参加したことがあります。

#### 4 地域合同の防災訓練について

平成26年～28年までは年に2回、春には学科ごと秋には学年ごとにグループ分けし、内容を変えて実施していました。平成29年からは年に1回、春の実施のみに変更しました。令和元年～4年までの4年間は、新型コロナウイルス感染症のため一斉休業やその感染拡大により中止となりました。防災訓練することが絶えてはならないと関係機関からの助言も受け、昨年度（令和5年度）から実施を再開しています。

下記に防災訓練のようすを示しております。



①西部保育所園児・地域住民の方も参加



②津波避難訓練



③ロープワーク訓練



④簡易担架搬送訓練



⑤消火訓練



⑥応急手当訓練

## 5 最後に

“十年ひと昔”とはよく言ったもので、私自身も一区切りと思い、独り善がりにならないようにという戒めも含めて、令和5年度に学校防災アドバイザー派遣事業（香川県教育委員会主催）を活用しました。一部の教職員（防災管理委員会のメンバー）を対象に、目的は「本校で作成している危機管理マニュアルの見直し」です。技術士会から谷脇・加藤様、県防災士から中條・西山様、また香川県教育委員会から河合様に来校してもらい、指導や助言をいただきました。本校の周辺の地理的状況や校舎の建築強度関係の話から始まり、あっという間の1時間でした。肝心の危機管理マニュアルの評価はというと、「すべてやり直さないといけない」ということでした。後日、個人的に谷脇様とはつながりを持たせていただいて、「危機管理マニュアルは取り扱う範囲が広く、基本的な部分だけ分かりやすく示しています。全教職員には、防災計画（抜粋版）、地震・津波マニュアル、危機管理マニュアルの3点セットで配布しています。」とお伝えしたところ、「マニュアルとしては十分だろう。」という評価をしていただきました。今後はマニュアルにある、いろいろな場面において防災訓練を計画・実施し、うまくいかないところを改善していく。それを繰り返していけばよいのでは、とのアドバイスをいただいています。

また、現在まで津波避難場所として、聖通寺山の塩竈神社の駐車場を利用させてもらっています。他に避難場所として考えられるところはあるのか、谷脇様同行のもと、角山付近へも現地調査に行きました。ここだけというのではなく、幾つかの手段や経路を知っておくことも大切なことだと感じました。

防災訓練のようすを報道関係の取材を受ける機会もありました。テレビで放映され、インタビューされた生徒は立派な内容をしっかり答えていました。防災関係の知識を多く持つことは大切なことだと思います。しかし、突発的に起こる自然災害で対処できなければ意味をなしません。日頃から防災情報や意識を高め、実際に自分の体を動かす防災訓練を通して身に付けておくこと。いざ自然災害に見舞われた時に、まずは自分自身の身の安全を確保できるようにしておくこと。そして思いやりや他人への優しさをもって、人が困っている時に手助けできる共助の心をもった支援できる人材の育成に全校生徒並びに全教職員が関わっていければと切に願っています。さらに、今後とも外部関連機関等のご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

# 事務局だより

令和6年 9月

## 地元企業との地域連携協定

この3週間、県内の市役所、町役場をかけめぐってきました。業務内容としては、自主防災組織と地元企業との「地域連携協定」についての意識合わせです。

平素から企業の皆様とのコンタクトが少ない関係から、入り口部分から困惑している様子も伺えました。筆者(川西地区自主防災会)の取組み事例を交えながら、説明をさせていただき理解を得ることにつとめました。

これを機会に活動の幅を広げて、人的資源の拡大も含め新しい分野である企業の皆様との連携拡大を図ってほしいと願っているからです。



終盤になって直島町へ伺いましたが船中のにぎわいと外国人の多さにあらためてびっくりしました。また暑い中、歩いて島めぐりをしている多くの女性パワーに敬意を表したください。私自身、良い勉強になりました。

文責：岩崎 正朔

## 編集後記

9月の防災・減災の輪は、香川県立坂出工業高等学校 河中一郎先生の下原稿を掲載させていただきました。ありがとうございました。